

創立明治6年 たがやせ 心と 体と 未来を

令和4年4月28日
学校だより No.2
松戸市立矢切小学校
校長 藤崎 裕二



矢切小だより

矢切小ホームページ <http://www.matsudo.ed.jp/~yakiri-e/>

「心と 体と 未来をたがやす 全校稲作活動」



新年度・新学期がスタートして1ヶ月が経とうとしています。4月8日の入学式の頃は、校庭の花々が嬉しそうに咲き誇っていました。そうした快い季節の中、快いスタートが切れたことを本当に嬉しく思います。

最上級生の6年生、すっかり6年生らしくなりました。入学式の翌日の9日には、昇降口付近で1年生を迎え、やさしくていねいに接していました。朝の支度や掃除などでも、いろいろと1年生に教えています。学年が上がると、こんなに違うものなんだな、と驚かされる場面もたくさん見られました。1年生は、6年生に教えてもらい、学校生活にも慣れてきて、日に日にしっかりしてきています。

新しい環境で少し疲れが見えてきた子もいます。GWでゆっくりリフレッシュできたらと思います。また、これからの活動のために、GWにエネルギーを充電しておくともよいです。

さて、今年度は5月9日に、矢切小学校の伝統の「全校田植え」を計画しています。日本では旧暦の5月を「早苗月」といい、田植えが始まる月のことをいいます。本校の教育活動の柱の一つである『全校稲作活動』は、今年度で42回を迎えます。この活動は、地域のよさに気づくとともに、農家の方々や親、自然に対する感謝の気持ちを育てる目的で行っています。まさしく校訓の通り「たがやせ 心と 体と 未来を」の活動です。

元気いっぱい56名の新1年生を迎え、395名の児童が揃い、令和4年度を歩み始めました。高学年の部活動、全校的にも運動会練習と様々な活動がスタートしています。子供たちが毎日のびやかに、笑顔いっぱいで過ごせるよう、教職員一同、力を合わせて努力してまいります。保護者・地域の皆様をはじめ、関係するすべての皆様の変らぬご支援とご協力をお願い申し上げます。



今月の話

あいさつの達人になろう。

- ㊦かるく
- ㊩つも
- ㊫きに
- ㊭づける

人の心の扉を開く、あいさつを大事にしましょう。どんなときにも、自分から進んで、明るいあいさつができるとうよいです。

「あいさつの達人」になりましょう。